

エコアクション21

環境活動レポート

活動期間

(2023年2月1日～2024年1月31日)

1. 組織の概要,	P.1
2. 対象範囲	P.2
3. 実施体制	P.3
4. 環境方針	P.4
5. 環境目標 環境活動計画	P.5
6. 環境目標の実績、環境活動計画の実績	P.7
7. 次年度の取組内容	P.9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.10
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.10

2024年6月1日発行

有限会社 酒井商店

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

有限会社 酒井商店
代表取締役 酒井和江

(2) 所在地

本社 神奈川県鎌倉市梶原312-2
積み替え保管 神奈川県鎌倉市梶原310-1外

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者及び担当者 酒井照和

連絡先 0467-32-2020
FAX 0467-32-2220
e-mail s33kk98ssakai@hb.tp1.jp

(4) 事業活動の内容

鉄、非鉄金属原料買取業、産業廃棄物の収集運搬業(積み替え有り)

(5) 事業の規模

	2021年度	2022年度	2023年度
売上高(千円)	52,801	53,331	52,710
廃棄物収集運搬量t	79.9	113.9	113.4
鉄、非鉄金属原料取扱量t	228	185	253
従業員数(人)	5	5	5
事務所延床面積(m ²)	19.8	19.8	19.8
倉庫延床面積(m ²)	66	66	66
積み替え保管場所(m ²)	41.04	41.04	41.04

(6)【情報公開項目 I】

- (1) 法人設立年月日: 昭和49年5月2日
(2) 資本金: 7,000,000円
(3) 売上高: 52,710千円(2023年度)
(4) 組織図: 3. 実施体制及び責任・権限表を参照

(7)【情報公開項目 II】

(1) 許可の内容 ○積み替え保管を除く ◎ 積み替え保管を含む ●特別管理廃棄物

許可者	許可番号	許可年月日 有効年月日	事業の区分 (積替保管)	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	酸アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器	鉱さい	がれき類
神奈川県	01411017144号	05. 02. 24 11. 04.30	収集運搬 (有)	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	◎	◎		○
神奈川県	01451017144号	03. 11. 10 08. 10.21	収集運搬			●	●	●										

①収集運搬業:運搬車両

種 類	最大積載量等	台 数
アームロール車	4t	2
平ボディ車	2t	1
軽トラック	350kg	1
バックホー		1
フォークリフト		1

②収集運搬業:積替保管施設

・所在地: 神奈川県鎌倉市梶原312-2

・保管上限量:49. 24m³ ・積み替え保管場所:(41.04m²)

③産業廃棄物の処理実績

(i) 収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
廃プラスチック類	t	64.83
木くず	t	6.25
ガラス、陶磁器、コンクリート	t	6.89
混合廃棄物	t	35.47
合計	t	113.44

2. 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織

本社・積替え保管場所

(2) 認証・登録対象活動

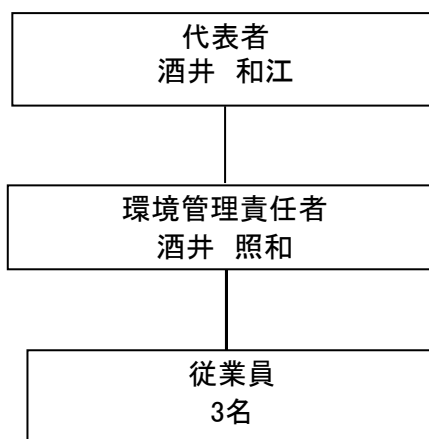
鉄及び非鉄金属原料買取業、産業廃棄物収集運搬業

3. 実施体制及び責任・権限表

作成

2018年9月11日

承認	作成
酒井 和江	酒井 照和



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. EA21の事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
従業員	1. 環境方針を理解し、環境活動計画に従って活動する。

4. 環境方針

基本理念

酒井商店は、廃棄物・資源物回収業を通じて環境型社会に対応し、環境に優しい社会の実現に貢献します。

環境方針

- 1 環境経営システムを効果的に運用して環境保全の向上に努め、システムの継続的改善を図ります。
- 2 環境関連法規、条例等を遵守し、環境汚染の未然防止に努めると共に、次の活動に取組み、環境負荷の低減に努めます。
 - (1)電気、自動車燃料の省エネルギーを推進し、二酸化炭素の排出量を削減します。
 - (2)リサイクルによる資源化を推進します
 - (3)適正使用による節水を推進し、水使用量を削減します。
 - (4)再生コピー用紙の購入や裏紙の利用等による資源の有効利用を図ります。
 - (5)収集運搬における燃費向上を図ります。
- 3 地域社会と密接なコミュニケーションを図り、地域社会の生活環境の保全に努めます。

2018年9月18日制定

有限会社酒井商店

代表取締役 酒井和江

5—1 環境目標（2023年度～2025年度）

環境目標	基準（実績）	単年度目標		
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	12,994 kg-CO2	12,994 kg-CO2	14,156 kg-CO2	13,916 kg-CO2
1.1 電力使用量の削減	2886kWh	維持 2886kwh	1%削減 2857kwh	2%削減 2828kwh
1-2 軽油使用量の削減	3571L	3571L	3717L	3680L
1-3 ガソリン使用量の削減	1061L	1061L	1405L	1349L
2. 一般廃棄物総排出量の削減	176kg	174kg	172kg	170kg
3. 水資源投入量の削減	163m3	163m 3	163m 3	163m 3
4. 軽油燃費の向上	4. 6km/ l	4. 6km/ l	4. 7km/ l	4. 7km/ l
5. 交通事故 0 件	0件	0 件	0 件	0 件

注(1) 購入電力のCO₂排出係数:0.457kg-CO₂/kWh（2022年東京電力エナジーパートナー）

注(2) 有害化学物質使用はない為、化学物質使用量の削減目標には設定しない

注(3) 2024年度及び2025年度の軽油、ガソリンの目標値は車両台数の変更等により見直した。

5-2 2023年度環境活動計画(2023年2月～2024年1月)

環境目標 目標値	環境活動計画 施策(取組項目)	責任者 担当者	スケジュール
1. 二酸化炭素排出量 の削減			
1.1電力使用 量の削減(1	換気扇の適正使用(使わないようにする) 休憩及び食事時間は消灯 エアコン温度設定最適化(冬20℃) 自販機の前には物は置かない	綿貫良一	毎日 毎日 冬 毎日
1. 2軽油使用量の削減	エアコンの使用は適切に 自分の燃費を管理しよう 車輻別タイヤ空気圧管理 迷惑駐車はしない エコドライブ勉強会	酒井照和	毎日 毎日 給油時 毎日 1回 10月
1. 3ガソリン使用量の削減	エアコンの使用は適切に タイヤの空気圧 車輻別タイヤ空気圧管理 迷惑駐車はしない エコドライブ勉強会	酒井照和	毎日 給油時 毎日 月1回 1回10月
2一般.廃棄物排出量 の削減	一般廃棄物の分別徹底(燃えるごみと資源) コピー紙、雑紙のリサイクルの徹底	酒井照和	毎日 毎日
3. 水資源投入量の削減	配管水漏れチェック 洗車方法の改善	綿貫良一	年1回
4. . 軽油燃費向上	燃費管理表の作成 エコドライブの実施	酒井照和	購入時チェック 毎日
5. . 交通事故の絶滅	自社の事故の洗い出し 社外講習会の受講	酒井照和	その都度 その都度

6-1. 2023年度 環境目標の実績、達成状況及び評価・是正処置

環境目標	基準(実績)	目標	実績	達成状況	評価・是正処置
	2022年度	2023年度	2023年度	○達成 ×未達成	
	2022年2月～2023年1月	2023年2月～2024年1月	2023年2月～2024年1月		
1. 二酸化炭素排出量の削減	12,994 kg-CO2	12,994 kg-CO2	14,164 kg-CO2	×	8.9%増加した。 車両燃料の増加による。
1.1 電力使用量の削減(1)	2886kWh	2886kwh	2,439kwh	○	15%減 EA21の効果と思える。 暖冬の効果もあると思える。
1-2 軽油使用量の削減	3571L	3571L	3,755L	×	5%増加した。 廃プラ、有価物の取扱量が増えたが、単価上昇のため引き取り回数が増え、少量で運行した 目標値の見直しを行う
1-3 ガソリン使用量の削減	1061L	1061L	1,449L	×	37%増加した 前年は減少したが+、本年度は乗用車が1台増えたため 目標値の見直しを行う
2. 一般廃棄物総排出量の削減	176kg	174kg	266kg	×	50%増加 仕事量が増え、紙使用が増えた。 倉庫の片付けを行なった為
3. 水資源投入量の削減	163m3	163m 3	155m ³	○	5%減 節水の成果があった。
5. 軽油燃費向上	4.6km/ l	4.6km/ l	4.1 km/ l	×	11%減少 プラ取扱量が増えたなど、走行距離が増えた為。 燃費管理を徹底する
6. 交通事故0件	0件	0件	0件	○	安全運転に務めた。

注(1) 購入電力のCO₂排出係数:0.457kg-CO₂/kWh (2022年東京電力エナジーパートナー)

注(2) 有害化学物質使用はない為、化学物質使用量の削減目標には設定しない

6-2. 2023年度環境活動計画の実施状況及びその評価

環境目標 目標値達成度	環境活動計画 施策(取組項目)	実施 状況	評価 (効果があったか)
1. 二酸化炭素排出量 の削減			
1.1 電力使用 量の削減	換気扇の適正使用(使わないようにする) 休憩及び食事時間は消灯 エアコン温度設定最適化(冬20℃) 自販機の前には物は置かない	◎ ◎ ◎ ◎	効果あり 効果あり
1. 2 軽油使用量の削減	エアコンの使用は適切に 自分の燃費を管理しよう 車輻別タイヤ空気圧管理 迷惑駐車はしない エコドライブ勉強会実施	○ × ◎ ◎ ×	
1. 3 ガソリン使用量の削減	エアコンの使用は適切に タイヤの空気圧 車輻別タイヤ空気圧管理 迷惑駐車はしない エコドライブ勉強会	◎ ◎ ◎ ◎ ×	
2 一般廃棄物排出量 の削減	一般廃棄物の分別徹底(燃えるごみと資源) コピー紙、雑紙のリサイクルの徹底	◎ ◎	
3. 水資源投入量の削減	配管水漏れチェック 洗車方法の改善	◎ ◎	
4. 軽油燃費向上	燃費管理表の作成	×	運行が忙しくなったため 管理ができなかった
5. 交通事故の絶滅	自社の事故の洗い出し 社外講習会の受講	◎ ○	安全管理者講習受講

実施状況 ◎ 大変よくできた
○ よくできた
△ 少しはできた
× 全然できなかった

7 2024年度環境活動計画

環境目標 目標値	環境活動計画 施策(取組項目)	責任者 担当者	スケジュール
1. 二酸化炭素排出量 の削減			
1.1電力使用 量の削減(1	換気扇の適正使用(使わないようにする) 休憩及び食事時間は消灯 エアコン温度設定最適化(冬20℃夏28℃) 自販機の前には物は置かない	綿貫	毎日 毎日 冬
1. 2軽油使用量の削減	エアコンの使用は適切に 自分の燃費の管理徹底 車輻別タイヤ空気圧管理 迷惑駐車はしない エコドライブ勉強会の実施 計画的な配車(空便で運行しない)	酒井照和	毎日 毎日 給油時 毎日 1回 10月 毎日
1. 3ガソリン使用量の削減	エアコンの使用は適切に タイヤの空気圧 車輻別タイヤ空気圧管理 迷惑駐車はしない エコドライブ勉強会	酒井照和	毎日 給油時 毎日 月1回 1回 10月
2一般廃棄物排出量 の削減	一般廃棄物の分別徹底(燃えるごみと資源) コピー紙、雑紙のリサイクルの徹底	酒井照和	毎日 毎日
3. 水資源投入量の削減	配管水漏れチェック 洗車方法の改善	綿貫	年1回
4. 軽油燃費向上	燃費管理表の作成 個々の車に運行状況の記録ノートをつける	酒井照和	軽油購入時チェック
5. 交通事故の絶滅	自社の事故の洗い出し 社外講習会の受講	酒井照和	その都度

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

主な環境関連法規は下記の法令である。

廃棄物処理法、自動車Nox・PM法、家電リサイクル法、自動車リサイクル法

	内 容
遵守状況の確認及び評価結果 法律違反の有無	2024年1月10日 環境関連法規等の取りまとめ一覧をもとに自ら遵守状況のチェックをした結果、法等の要求事項が確実に守られ、活動期間中の法規制違反はありません。
訴訟等の有無	活動期間中の関連機関からの指摘及び訴訟等はありませんでした。
関係者からの苦情の有無	活動期間中の近隣、顧客等関係者からの苦情はありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

実施日2024年4月26日

評価	・エネルギーでは電力は達成した。 ・ガソリンは目標を大幅な未達成に終わった。原因は普通自動車を1台増やし、通勤・客先回りの利便性を向上させたためです。よりエコドライブに努めます。 ・軽油は目標未達成に終わった。廃プラ、有価物の取扱量が増えたため、単価上昇のため引き取り回数が増え、少量で運行したためです。 ・重機の動きを少なくするため、作業場の置き場を整備した。 ・走行距離が増加したが、燃費は悪化した。忙しくなり、走行記録のつけ忘れがあったためと考えます。 ・水については節水に努めたため使用量が減少しました。 ・一般廃棄物は今年も倉庫の大掃除をおこなったため大幅に増加した。 ・交通事故はありませんでした。エコドライブと安全運転に今後も努めます。 ○優良産業廃棄物収集運搬業者認定を取得しています。 ①EA21認証登録 ②電子マニフェスト導入 ③構内雨水処理施設及び油水分離槽の設置 ④場内の整理整頓及び表示板
指示	以上の評価を基に次期の環境方針、実施体制については変更をしない。環境経営目標については、軽油とガソリンの目標値を変更する。 環境活動計画は、軽油使用量減少のため、計画的配車を追加して、空荷での運搬を少なくする。また、運行管理表のつけ忘れがないように朝礼で確認をする。 優良産業廃棄物収集運搬業者認定を取得したので、優良の名前に恥じないよう努力する。